

緊急アピール 「憲法破壊」に反対する

昨年末の総選挙での自民党の圧勝を受けて安倍晋三氏が首相に返り咲いて以来、「改憲」の危険性は急速に高まっています。自民党が昨年四月に発表した「日本国憲法改正草案」は、戦力の不保持と交戦権の否認を定める憲法九条二項の削除、「国防軍」の設置や「緊急事態」条項の新設など、日本国憲法の平和主義を根本的に否定するものです。

日本国憲法がこれまでにない大きな試練にさらされている今日、「九条の会」のアピール（2004年6月10日）を読み返し、改めて賛同の輪を広げていくことが喫緊の課題となっています。

「九条の会」のアピールは次のように呼びかけました。

「日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。

ヒロシマ・ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、五千万を超える人命を奪った第二次世界大戦。この戦争から、世界の市民は、国際紛争の解決のためであっても、武力を使うことを選択肢にすべきではないという教訓を導きだしました。

侵略戦争をしつづけることで、この戦争に多大な責任を負った日本は、戦争放棄と戦力を持たないことを規定した九条を含む憲法を制定し、こうした世界の市民の意思を実現しようと決心しました。

しかるに憲法制定から半世紀以上を経たいま、九条を中心に日本国憲法を『改正』しようという動きが、かつてない規模と強さで台頭しています。その意図は、日本をアメリカに従って『戦争をする国』に変えるところにあります。」

「私たちは平和を求める世界の市民と手をつなぐために、あらためて憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えます。そのためには、この国の主権者である国民一人ひとりが九条をもつ日本国憲法を自分のものとして選び直し日々行使していくことが必要です。」

「日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、『改憲』のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐはじめることを訴えます。」

この「九条の会」のアピールに賛同し応える動きは全国に広がり、九条を中心に日本国憲法を「改正」しようとする動きを止める大きな力となりました。私たちも、「九条の会」アピールを支持し、愛知県内の多くの大学の九条の会と協力しつつ、『九条の会』愛知・大学人の会からの呼びかけ（2004年12月18日）を公表するなど、憲法九条を守る運動を発展させてきました。

自民党の「日本国憲法改正草案」は、日本国憲法の平和主義を根本的に否定するだけではありません。天皇を「元首」にする一方、国旗・国歌の尊重義務を始めとして多くの「国民の義務」を創設して、主権者のあり方を変更しようとしています。また、人権制約をさ

らに容易にするための改憲を提言しています。「日本国憲法改正草案」は、日本国憲法の三大原理である、国民主権、基本的人権の尊重、そして平和主義を徹底的に形骸化させようと目論むものです。これは、まさに憲法破壊というべきものです。このような内容の改憲が実現したら、日本国憲法の下で醸成されてきた東アジア諸国との信頼関係は損なわれ、東アジアにおける平和の構築も困難になるでしょう。

安倍首相は他党との連携を視野に入れて、憲法改正の発議要件を各議院の総議員の「三分の二以上」の賛成から、「過半数」の賛成に変更するための九六条改憲を先行させるとしていますが、改憲発議要件の緩和が実現した暁には、「日本国憲法改正草案」に基づく九条改憲に手を付けることは、火を見るより明らかです。

だからこそ今、「九条の会」アピールの意義を再確認して、そのメッセージをより多くの人々に広げていく活動を再構築する必要があります。「九条の会」がある大学ではその活動をさらに活性化させ、それがまだない大学では、「九条の会」を新たに組織していく中で、憲法改悪に反対し、憲法九条を守る声を広げていきましょう。

私たち大学人がこぞって「憲法九条を守ろう」の声を挙げ、今こそ日本国中に「憲法九条を守ろう」、「憲法改悪反対」の機運を盛り上げていくことで、核廃絶・平和実現を求める世界の人々の期待に応えましょう。

2013年5月16日

青木みか（名古屋女子大学名誉教授）、大崎竜也（名古屋芸術大学講師）、
大谷肇（名古屋工業大学教授）、加々美光行（愛知大学教授）、
加藤厚生（愛知工業大学名誉教授）、糸康弘（名城大学元教授）、
倉橋正直（愛知県立大学名誉教授）、近藤直子（日本福祉大学教授）、猿田正機（中京大学教授）、
将積茂（愛知教育大学名誉教授）、白岩謙一（名古屋大学名誉教授）、
諏訪兼位（名古屋大学名誉教授）、高橋昭弘（至学館大学名誉教授）、高倍鉄子（名城大学教授）、
田口富久治（名古屋大学名誉教授）、塚本隆敏（中京大学名誉教授）、
柘植新（名古屋大学名誉教授）、中川武夫（中京大学教授）、中嶋哲彦（名古屋大学教授）、
新美治一（名古屋経済大学名誉教授）、丹生潔（名古屋大学名誉教授）、
原昭午（愛知東邦短期大学元学長）、福田静夫（日本福祉大学名誉教授）、
別所良美（名古屋市立大学教授）、松田正久（愛知教育大学）、
水田珠枝（名古屋経済大学名誉教授）、宗貞秀紀（愛知東邦大学教授）、
森正（名古屋市立大学名誉教授）、森英樹（名古屋大学名誉教授）、
森川恭厳（名古屋自由学院短期大学元学長）、安川悦子（名古屋市立大学名誉教授）